

HOW TO CARE FOR CUT FLOWERS



綺麗な切花は、自分時間を素敵に演出するもの。

切花を美しいまま長く楽しむため、購入したあとの管理のコツをお花屋さんに教えていただきました。

01 花びん(花器)をきれいに洗いましょう

食器用洗剤を使って、花びんをしっかりと洗います。こうすることで、水中のバクテリアの発生を抑え、花がより長持ちします。

02 ハサミも清潔にしましょう

茎や葉を切るときに雑菌が入っては大変。ハサミも清潔に保つため、食器用洗剤で洗って使いましょう。

03 鮮度保持剤を利用しましょう

花瓶の生け水に鮮度保持剤を入れてあげましょう。鮮度保持剤には成長を促すための糖分と防腐剤が入っています。真水で生けるよりも長い間、花の美しさを楽しめます。

04 お花を生ける前に

お花を購入したら、ラッピングをほどいて、まず鮮度保持剤を洗い流します。

05 余分な葉は取り除きます

花瓶の中の水に葉がつかると雑菌が水の中で繁殖することがあります。水につかるくらいまでの高さの葉は思い切って取り除いてしまいましょう。

06 水揚げして水不足と乾燥からお花を守りましょう

切花に水を再び吸わせてあげることを、水揚げ(水上げ)といいます。茎を切り、切り口をきちんと水の中で整えてあげれば、再び水を十分に吸い上げ、切り花が長持ちします。

07 水は清潔に保ちましょう

意外と怠りがちなのが水替え。お花は生き物ですから、鮮度保持剤を利用しない場合は毎日清潔な水に替えてあげましょう。

08 思い切って短く切り復活させましょう

切花が弱ってしまったら、思い切って短めに切り、小瓶など小さめの花器に移し替えてみましょう。水の吸い上げが良くなり、元気になることも。

09 気温の低い、風通しの良い場所に置くのがおすすめ

お花によりませんが、一般的には直射日光が当たらない、室温が低めで風通しの良いところがベターです。リビングや玄関など、暮らしのシーンで選んでみましょう。



■ FAQ 切花を楽しむための素朴な疑問にお答えします。 初心者が知りたい基本ポイントのQ&Aをご紹介します。

Q 花びんの水を取り替える理由は？

A 切花は花びんの水を吸い上げて、水分を保っています。しかし、水を長く取り替えないと、花びんの水に浸っている茎や下部の葉にバクテリアが発生し、茎や葉の切り口などからバクテリアを吸い上げてしまい、病気や傷みの原因となります。

Q 水揚げというのは？

A 水中で切花の茎を切り落とし、弱ってしまった切花を復活させる方法です。空気中の細菌類などが切口に付着しないよう水の中で行います。深く張った水の中に花を入れ、そこへハサミを入れて茎の下部を斜めに切り落とします。断面を斜めにするすることで、断面積が広くなり、水を吸う量が増えます。
(水上げ、水きりともいいます。)

Q 鮮度保持剤や品質保持剤とは？

A 呼び方が違うだけで基本的には同じものです。製品としては多くの種類があり、その多くは殺菌剤や、植物の養分となる糖分が含まれています。お花屋さんで取り扱っていますので相談してみましょう。鮮度保持剤がないときは台所用の塩素系漂白剤を1滴、花びんに垂らしておく、保持剤の殺菌作用の代用として使うこともできます。

Q 切花はどの位持ちますか？

A もちろん、お花の種類によって異なりますが、多くの場合、夏場は概ね5日前後、冬場は1週間程度が目安になります。お花の種類によって楽しめる季節や環境も違ってきますので、そのお花の特徴をよく理解することが秘訣です。気軽にお花さんに聞いてみましょう。